Internet Explorer で el-Campus にログインができない場合の対処方法

今回、SSL3.0 に脆弱性が発見されました。それに対処するため、el-Campus のサーバーの 設定を変更したことにより、一部のパソコン環境からはログインできなくなる場合があるこ とが判明しました。以下に同環境からログインするための設定手順を記します。

①InternetExplorer を起動し、右上の歯車マーク(ない場合はメニューバーから「ツール」) をクリックし、②「インターネット オプション」をクリック



③「詳細設定」タブをクリックし、④「設定」の「セキュリティ」項目にある中から「TLS1.0」 「TLS1.1」「TLS1.2」にクリックしてチェックを入れ、⑤「OK」をクリックする

	 セキュリティ ✓ DOM ストレージを有効にする ✓ Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 要求を送 ✓ POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に ■ SmartScroon フィリター 地話を有効にする
4	 ShlatScreen ノイルター機能を有効にする SSL 2.0 を使用する SSL 3.0 を使用する ▼ TLS 1.0 を使用する ▼ TLS 1.1 の使用
	 ▼ TLS 1.2 の使用 ▼ TLS 1.2 の使用 ▼ プーハーの証明書矢効を確認する* ▼ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する ▼ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする
*	(
	詳細設定を復元(<u>R</u>)
Into	rnet Explorer の設定をリセット

その後、InternetExplorerの画面を一度閉じ、再度開いたあとログインができるかどうか お試しください。

※SSL3.0 について

el-Campus ではインターネット上のやり取りの中で暗号通信技術を用いています。その技術の中の1つ、SSL3.0に脆弱性が見つかりました。現在は多くのサービスで SSL3.0を無効にする対策が取られている状況です。詳しくは以下も参照してください。

SSL 3.0 の脆弱性対策について【情報処理推進機構】 https://www.ipa.go.jp/security/announce/20141017-ssl.html